令和６年度　冬期施設活用事業計画書

「令和６年度業務計画書」に基づいて適切に冬期施設活用事業の運営・管理を行います。

☆冬期施設活用事業

冬期施設活用事業として、下記を実施する。

1. バナナボート
2. トラクター遊覧車
3. 馬そり
4. えさやり（自主事業）
5. さとの雪山（そり・チューブ滑り）
6. 雪合戦
7. スノーシュー・タイヤチューブ貸出し

<table>
<tr><td colspan="2">【築造期間】令和６年12月20日（金）～令和７年１月５日（日）
【築造方法】スノーモービル、除雪車でコース等を除雪・圧雪する。
【築造時の安全対策】
開園時間外（午前６時～９時）に作業を行い、来園者が事故にあわないようにする。
保安要員として職員を１名配置する。
【運用期間】１月４日（土）～２月24日（月祝）の土日祝に実施。
※1/4（土）～トラクター遊覧車、えさやり、スノーシュー貸出し開始
※1/7（火）～バナナボート、馬そり、さとの雪山、チューブ貸出し開始
※小学校の冬休み期間の１月７日～１月10日は毎日実施（休園日除く）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">運用方法</td><td>１.バナナボート（１周約５分）　10時～15時（12時～13時休憩）
スノーモービルにバナナボートを繋ぎ、雪上滑走の楽しさを体験してもらう。
料金：１回大人800円　子供400円</td></tr>
<tr><td>２.トラクター遊覧車（所要時間約10分）　10時～15時（12時～13時休憩）
トラクターに乗客を乗せるトレーラーを付けて園内を遊覧し、冬のさとらんどの風景を楽しんでもらう。
料金：１回大人400円、子供200円</td></tr>
<tr><td>３.馬そり（所要時間約10分）　11時～11時半、13時半～14時半
馬に馬そりを付け、ふれあい牧場周辺を遊覧し、冬のさとらんどの風景を満喫してもらう。
料金：１回大人600円、子供400円</td></tr>
<tr><td>４.えさやり　10時半～11時半、13時半～15時
ふれあい牧場にいる羊・山羊にえさをあげる体験をしてもらう。
料金：１袋100円　※自主事業</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">【築造方法】
①タイヤショベルで雪を堆積する。
②ロータリーで雪を飛ばす。
③そり山・雪合戦広場を整地、圧雪する。
【運営にあたっての安全対策】
①そり山の高さと傾斜は、滑走速度が速くなり過ぎないようにする。
②そり山の周りに防護ネットを設置する。
③利用に当たっての注意事項等を記載した看板を設置する。
④危険な利用等が確認された場合は直ちに必要な処置を行う。
⑤職員が定期的（1時間に1回程度）に巡回し、事故防止に努める。
⑥安全利用と危険防止の注意事項について随時、放送を行う。</td></tr>
<tr><td rowspan="3">運用方法</td><td>５.さとの雪山　9時～16時
風のはらっぱ西側に山を造成し、各自が持ち込んだそりや貸チューブを利用して滑走を楽しんでもらう。
料金：無料　　※貸チューブは9時～16時まで（無料）</td></tr>
<tr><td>６.雪合戦会場　9時～16時
観光客・修学旅行生・市民が雪合戦を楽しむことができる広場を設置する。
事前予約制　※指導者を立ち会わせるため、予約制とする。
料金：無料</td></tr>
<tr><td>７.スノーシュー、そり貸出し、チューブ貸出し
手ぶらで来園された方も、そり山や雪原を楽しめるように、スノーシューやそりを貸出す。スノーシューはさとらんどガーデンエリアを利用してもらう。
料金：スノーシュー…1時間300円
そり……無料
チューブ……無料
※スノーシューは貸出票に必要事項を記入の上、受付窓口に提出してもらう。</td></tr>
</table>

※令和６年度は券売機を導入し、さとらんどセンター1F窓口横に設置する。
- 券売機では200円単位のチケット綴り券とスノーシュー券を販売する。
- えさやり体験のえさ代は、ふれあい牧場で直接現金支払いとする。

※参考資料

◎冬期園内除雪

冬期間、園内の除雪を別紙「冬期園内除雪範囲」のとおり実施します。

◎冬期営業期間の勤務体制と組織表

冬期営業期間の勤務形態と組織は、別紙「冬期勤務形態表」、「冬期組織表」のとおりです。

◎料金設定の根拠となる実費弁償相当額

料金設定根拠は別紙「料金設定の根拠となる実費弁償について」のとおりです。

令和６年度　冬期園内除雪範囲図

赤色：除雪部分

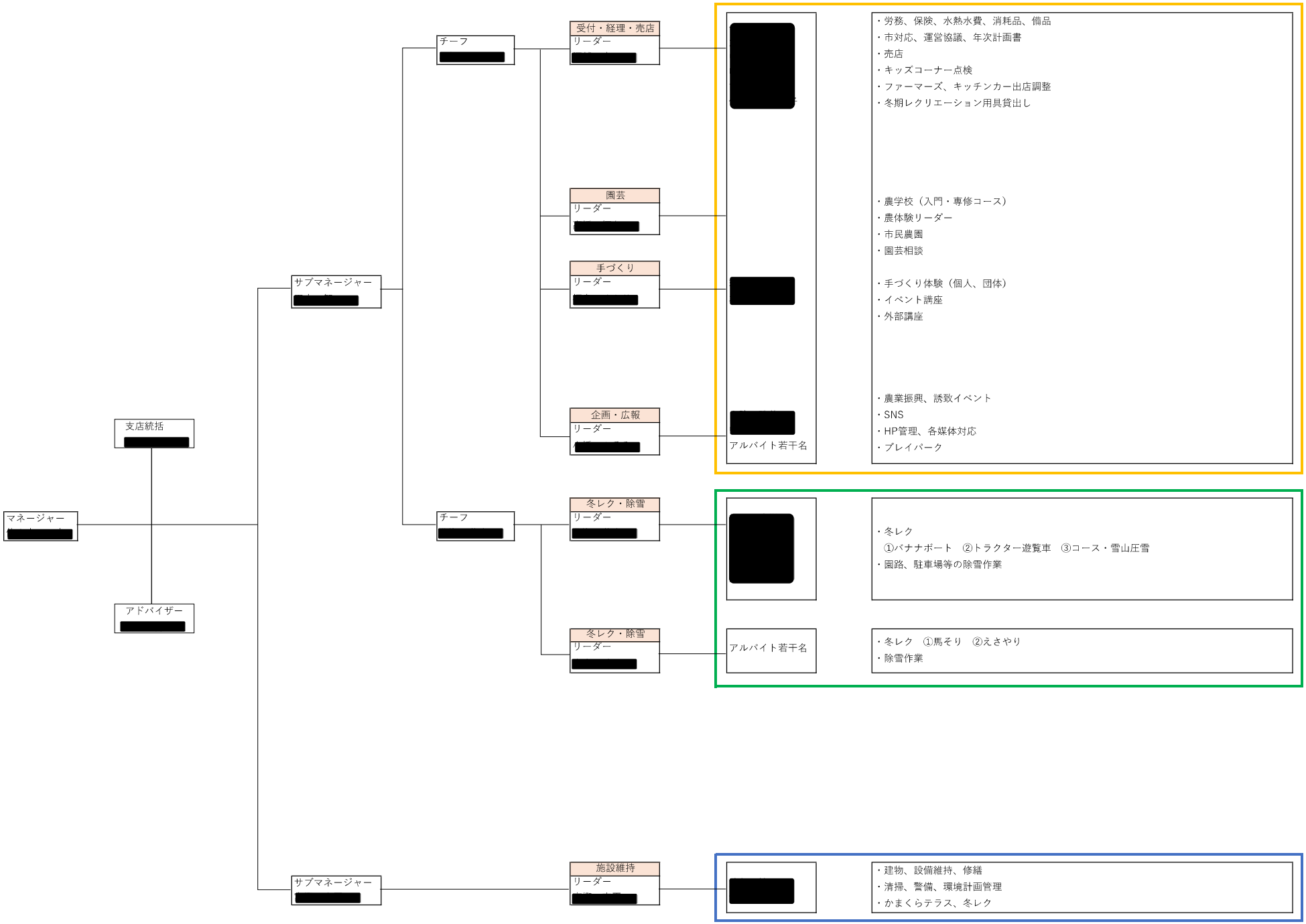
※第２駐車場に関しては、イベント時に除雪・開放します。

料金設定の根拠となる実費弁償について（R6年度）

収入見込み		
項　目	金　額	備　考
トラクター遊覧車	¥400,000	大人400円　小人200円 400円×750人＝300,000円 200円×500人＝100,000円
バナナボート	¥2,800,000	大人800円　小人400円 800円×2000人＝1,600,000円 400円×3000人＝1,200,000円
えさやり体験	¥250,000	1回100円 100円×2500袋＝250,000円
馬そり	¥920,000	600円×1000人＝600,000円 400円×800人＝320,000円
合　計	¥4,370,000	

料金設定の根拠となる実費弁償相当額		
項　目	金　額	備　考
バナナボート	¥99,000	補修費
チューブ本体新規購入（大5、小5）	¥100,000	
チューブカバー（底部）代	¥66,000	タイヤチューブカバー補修費用
ロータリー除雪車、タイヤショベル（2台）、クローラ等作業機械の損料	¥1,500,000	点検、レンタル代（タイヤショベル2台）
スノーモービル定期点検料、 整備・修理代	¥400,000	
スノーモービルガソリン代	¥115,000	
落雪対策	¥700,000	リフト車、作業員1回70,000円×10回分
そり山・雪だるま等築造用軽油代	¥85,000	軽油税込み
バナナボート保険代	¥300,000	
えさやり体験用えさ	¥30,000	
消耗品類	¥110,000	手袋、長靴、ゴーグル、チケット他
保安用品	¥300,000	スノーポール、鉄ピン、単管バリケード他
広告宣伝費	¥50,000	のぼり・ポール等
馬そり消耗品費	¥110,000	馬の服、手袋、長靴、ゴーグル、チケット代
合　計	¥3,965,000	

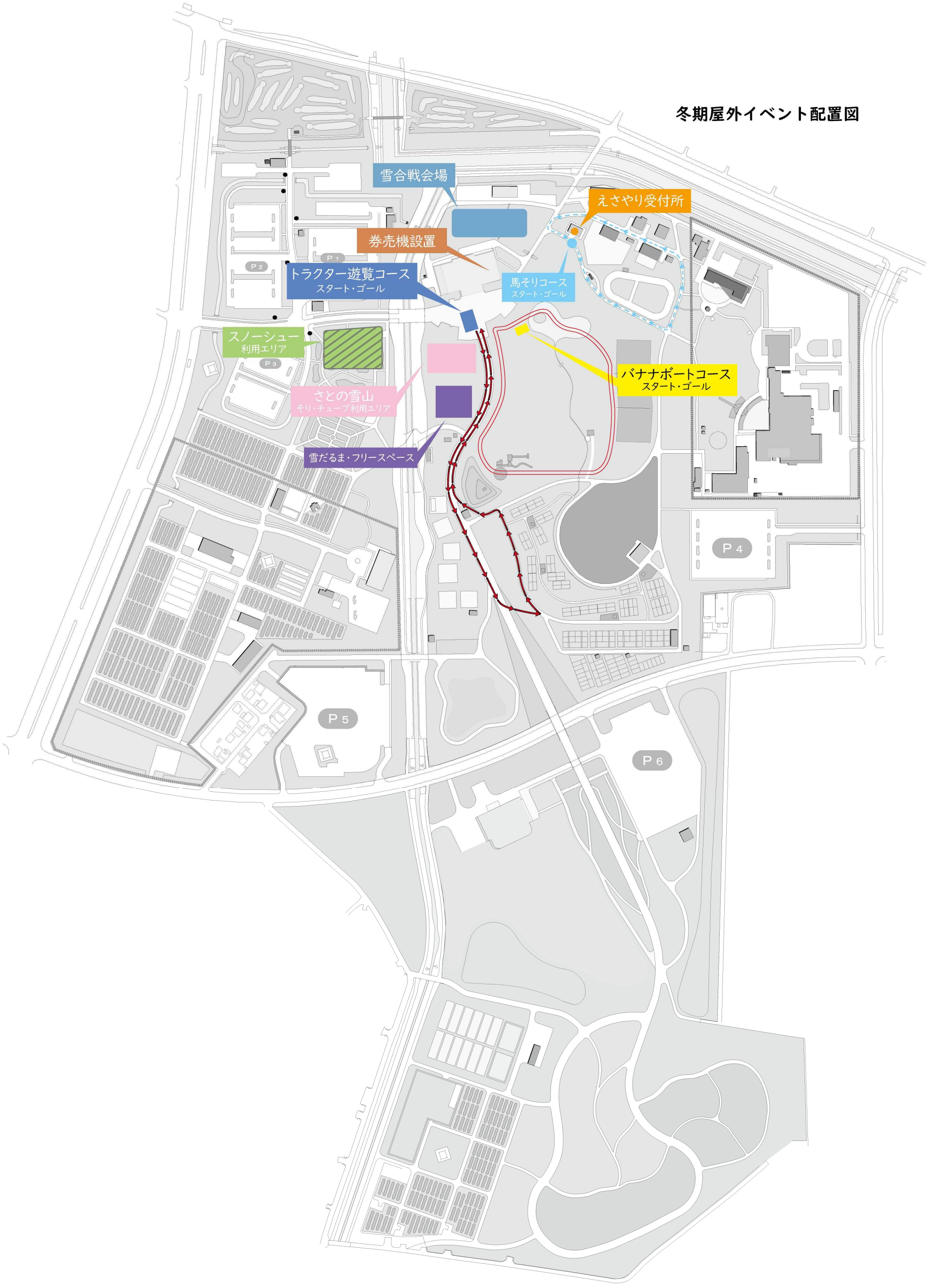
令和6年度　さとらんど　冬期組織表



令和６年度　冬期勤務形態表

部　門	職　制	人　数	
統括	職員	1	[redacted]
マネージャー	職員	1	[redacted]
サブマネージャー	職員	2	[redacted]
農園 緑地・花壇	職員	4	[redacted]
	職員	2	
牧場	職員	1	[redacted]
手づくり 総務経理 受付 園芸 売店	職員	3	[redacted]
	職員	8	
イベント SNS プレイパーク	職員	3	[redacted]
施設維持管理	職員	2	[redacted]
その他	アルバイト		若干名（牧場・イベントなど）
合計	27		

冬期屋外イベント配置図



令和6年度 冬期施設活用事業計画書（追加）

イベント「かまくらテラス in さとらんど」で実施していたアクティビティ、「スノーストライダー」と「かまくら貸出」が大変好評であったため、イベント終了後もさとらんどの冬期施設活用事業として、引き続き２月 24 日まで実施することとする。
※ただ
し、積雪状況によっては２月 24 日を前に終了する場合もある。

☆冬期施設活用事業 追加事業
・スノーストライダー
・かまくら貸出

【運用期間】
２月１日（土）～２月 24 日（月祝）の土日祝に実施
10 時～16 時（最終受付 15 時半）

●スノーストライダー
未就学のお子様でも安心して楽しめるウィンタースポーツで、雪山の滑走を体験してもらう。

【運用方法】
チケットはさとらんどセンター内に設置している券売機で販売し、体験会場テントにて利用者名簿を記入していただく。
料金：500 円/30 分　※対象年齢１歳半～5 歳まで

【運営にあたっての安全対策】
①滑走する山の高さと傾斜は、速度が速くなり過ぎないようにする。
②山の周りに防護ネットを設置する。
③利用に当たっての注意事項を記載した看板を設置する。
④職員を配置し、安全利用を促し事故防止に努める。
⑤安全利用と危険防止の注意事項について、随時放送を行う。

●かまくら貸出（全８基）
雪に包まれた幻想的なかまくらの中で、この時期ならではの特別な雰囲気を楽しんでいただく。

【運用方法】
センター窓口にて利用者名簿を記入の上、フラッグと利用時間を記載したチケットを渡し、料金を頂いてからかまくらへ案内する。

料金：1,000 円/30 分　※かまくら内は腰掛 5 名くらいで、飲食可。

【運営にあたっての安全対策】

①開園前にかまくらの状態を外側、内側の両方から点検・確認する。

②受付の際、利用の案内を一読してもらうよう利用者に促す。

※参考資料

◎追加事業の配置図

冬期屋外イベント配置図（追加分）